

各位

2021年4月30日
全保連株式会社**第三者割当増資による資本増強**

～上場を見据えた強固な財務基盤の構築を目指して～

全保連株式会社（沖縄県那覇市、代表取締役社長執行役員：迫 幸治、以下全保連）は、2021年3月30日、AZ-Star3号投資事業有限責任組合を引受先（他2社）とする第三者割当増資により資金調達を実施したことをお知らせいたします。

◆第三者割当増資

増資額：4,501,368,000円

◆第三者割当増資の目的

全保連はこれまで、賃貸住宅の家賃等立替サービスを軸とした家賃債務保証サービスを全国18カ所の地域に拠点を置き積極的に展開、各地域の賃貸市場に浸透するサービスの開発・提供をおこなってまいりました。

一方、急激な市場拡大により、主要な社会インフラサービスとなりつつある家賃債務保証サービスは異業種からの参入等競争が激化しており、活性化した業界へと変化しつつあります。

これらを背景に、全保連はお客様のニーズにマッチした商品開発・提供、およびデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）の具体的な戦略を加速させ、この度の資本増強により、株式上場を見据えた**強固な財務基盤の構築**に取り組んでまいります。

全保連は、営業戦略として、社員の新たな働き方を視野に入れた支社機能の見直し等、総合的な構造改革を推進中ですが、特にお客様のニーズに対する商品開発は重要戦略として位置づけ、カスタマイズ商品の提供、信託口座を利用した決済サービス、賃借人事故対応費用保険の付帯商品を推進することで、長期的に安定したサービス提供、収益力強化を実現してまいります。

また、DX戦略の一つとして、生産性の向上、業務効率化を目的とした大掛かりな基幹システムの更改プロジェクトを2019年4月からスタートし、2021年5月に本格稼働を迎えます。

その効果として、データ処理、分析体制が大幅に向上し、より精度の高い情報を取得することが可能となります。その情報を取り扱う社員の戦略的育成、およびデジタル人材の獲得にも資源投入の上、企業成長を目指し、コーポレートガバナンス体制の強化を図ってまいります。

全保連の企業理念である「社会に貢献し、安心をお届けします」のもと、これからも賃貸住宅業界の中で、賃貸人の皆さま、借入者の皆さま、双方の「安心」を支えることができるサービス提供に取り組んでいくとともに、社会的価値を創造する企業を目指してまいります。

■本件に関するお問合せ

全保連株式会社／東京本社

経営企画部

Tel : 03-6327-1138

Mail: pr_info@zenhoren.co.jp